

子育てひとくちメモ16, 「子どもの成長と勇気づけ」

—幼児期の勇気づけ2—

「何かしてほしいことある？」と聞いて「別にいい」と言ったら、「あったら言ってね」と言って何もしないのがいい。英語にはとてもいい言葉があります。May I help you? (“何かできることがありますか？”) です。子どもにも配偶者にも、「できることがあったら言ってね」という言い方をするのがいいです。そして、言ってもらったときだけ働く。黙っていたら動かない。黙っている権利はありますから。ただ、黙っている権利を使うと、何もしてもらえないとか誤解されるとかの責任が生じます。してほしいことがあれば、しっかり言葉で言うという原則で子どもを育てたほうがいいです。お互いに黙ってわかりあおうという態度の育児をした結果が、今の子どもたちの大問題になったようですから。

幼児期から絶えず「何かしてほしいことある？ できることはしますよ」と聞きましょう。しょんぼりしていたら、まず「どうしたの、私に何かできることある？」と聞いてみます。最初から、よしよしと慰めないほうがいいです。いろいろなことを自分で克服する力を身につけてもらいたいです。

(津山工業高校スクールカウンセラー：大森 浩)